# ひと

## 材木座海岸で開催の流鏑馬の総指揮官

### 伊村　直也さん

古来より伝わる勇壮な流鏑馬が11月11日、鎌倉の材木座海岸にやって来る。流鏑馬の伝統を守り、継承を目指す「日本古式弓馬術協会」が中心になって開催する「鎌倉流鏑馬」。その実行委員長であり、神事の総指揮を執る弓馬故実礼法武田流の師範だ。

「鎌倉に根付いた流鏑馬を市民に、そして子どもたちに楽しんでもらい、継承につなげたい」と開催の目的を語る。

鎌倉流鏑馬には馬4頭が出場し、射手5人が騎射を披露する。会場に材木座を選んだのは、ひとつには市民から流鏑馬を見たいという強い要望があったからだという。流鏑馬と言えば鶴岡八幡宮で年2回行われており、見慣れたものかと思ったら、「なかなか見られない」との市民の声を耳にし、「それがきっかけで企画が始まった」と話す。誰でも無料で観覧できる。

鎌倉宮への奉納と先師追悼でもある。鎌倉宮は、武田流を継承した金子有鄰師が九州から鎌倉に居を移した1931年（昭和6）と翌年に流鏑馬を奉納した神社だ。以降奉納は途絶えていた。

流鏑馬との関わりは父親が先師の門人だったことから。大学で馬術部に所属し、卒業後、弟子入りした。約35年間の修行を経て4年前、師範に。

最初は馬に乗れず「がくぜんとした」と話す。「くらが木でできている。矢を放つ時はくらにお尻をつけない。手は手綱から外す」。西洋馬術とは180度違った。

脂の乗り切った45歳のとき3カ所に置かれた一番小さな的を全て射ぬいた（ゴルフで言えばホールインワンに匹敵）。下半身に力を入れ、上半身は力を抜く。そのバランスがとれた時に的中するそうだ。

流鏑馬も伝統行事の例に漏れず後継者難である。だから「当日は市民、特に子どもたちに来てもらい、感動し、夢をもってほしい。そして継承してもらえたら」と力をこめた。そのため神事のあとに馬に乗って楽しんでもらう時間も設けた。

東京・巣鴨でスポーツ用品の卸会社を経営する。趣味は自転車。巣鴨から鎌倉まで自転車で往復していたが、3月に病気をしてやむなく中断。「ダイエットも兼ねていたのですが」とおなか周りに目をやった。子ども2人は独立し、板橋区高島平に妻と2人住まい。60歳。

（文・写真　三浦準司）

---

# 新しい湘南文化創造発信を

# 湘南邸園文化祭2018

相模湾にのぞむ海浜地域は、明治時代から今日まで独特の生活文化圏を築いてきた。その遺産を守り、次世代につなげようと活動する湘南邸園文化祭連絡協議会事務局の菅孝能さん（株式会社山手総合計画研究所代表取締役）にうかがった。

## 相模湾が育んだ近現代史

**―そもそも「邸園」とはどのようなものを指すのでしょうか。**

私たちの造語です。建物とその周囲の庭をあわせたものを「邸園」と呼ぶことにしました。別荘は昔の建物ですと周囲にかなり広い敷地がありそれが特徴でもあります。ですから建物だけ保全してもしょうがない、庭も一帯として環境保全しなければということでそれを分かりやすく表現する言葉として生まれました。

**―たくさんある家々の中から邸園を分類する条件は。**

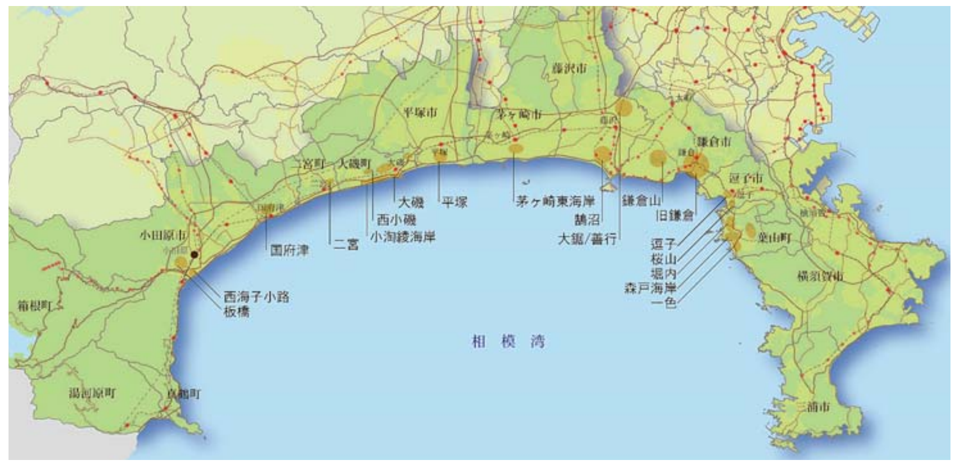
簡単に言えば「湘南一帯にある歴史的建造物」ということです。

例えば、大磯にある小さな別荘は昔の漁師の家で、そのまま使われていて敷地も広くありませんが、それも一つの歴史だろうと考えています。

鎌倉などで多いのは、元々別荘として使われていたようだが戦時中に持ち主が疎開してきて東京が焼けてしまったために戦後になっても戻ることができず、住宅として住み続けている建物があります。また、元々は敷地が広かったが相続や生活費のために敷地を切り売りしたものも。ですから「今の時点で観てこれはというものは邸園と仕分けしてよいのでは」ということです。葉山のしおさい公園のように元は宮様の御用邸でしたが広い庭だけが残っているものもあります。

**―冠に「湘南」とあるのは。**

「相模湾に面しているところ」ということで、当文化祭に参加しているのは東は三浦半島の先端、三浦市から西は湯河原町、箱根町までで、海のない参加自治体は箱根町と横浜市戸塚区で、合計14市町が参加しています。



邸園住宅地分布図　茶色の部分が邸園住宅地

**―どうして湘南地域に「邸園」が集中的に誕生したのでしょうか。**

かつては結核が世界的な難病で、その保養のためにはイオンの多いところに転地療養しなければいけないといわれ、ヨーロッパでは最初アルプスの高地などに転地療養していた。ところがその後、海岸地帯がオゾンが多くて身体に良い。しかも海水は人間の体液と同じ塩分濃度で消毒効果もあるということで、海岸での保養が推奨されるようになりました。

一方1870年（明治4）、岩倉使節団がイギリスのブライトンを訪問した。ブライトンはロンドンの南約60キロにある海辺の町で、ここで海水浴が始められ、イギリス王室の離宮建設とともに政財界人の保養地、別荘地として発展しましたが、その立地は東京から約50キロ前後の位置にある湘南地域と似ています。一方お雇い外国人医師として天皇家の主治医を務めていたエルウィン・フォン・ベルツは海水浴の適地として湘南を推奨し、自らも1889年（明治22）葉山に別荘を持ちました。幕末にオランダ人医師ポンペの教えを受けた陸軍軍医総監松本順は1885年（明治18）大磯に海水浴場を開設しました。鎌倉は日本で初めて海浜サナトリウムを作った医学者長与専斎が海水浴場として推奨しました。そのような気候風土を持っていたことから、湘南地域は別荘地として発展しました。

葉山町で３番目に登録有形文化財に登録された加地邸

**―「邸園文化圏再生構想」とは。**

例えば政財界人が東京ではできない密談をすることがあったでしょう。それも一つの文化で、それぞれにある種のサロンができているわけです。小田原ですと政治家と財界人のサロン、鎌倉ですと文化人のサロン、逗子は隣が横須賀ですから軍人のサロン、葉山は宮家のサロンでした。そういうものを含めてある種の文化があった。それぞれが「邸園文化圏」で、それを大切にしてゆく。それを新しい形で再生しようというのが「邸園文化圏再生構想」です。

**―具体的な取り組みは。**

人が住んでいてくれればいいわけです。ちゃんと維持管理してくれてますから。そうではなくなったものは、これはと思うものに対しては保存してゆかなければいけないということで、それぞれの地域でNPO（民間非営利団体）が保存活動をしているわけです。

## 楽しみながら邸園を学ぼう

**―文化祭は今年で13回目ですが、どういう経緯から開かれるように。**

藤沢にモーガン邸が残されていますが、あれはかつて私の事務所が横浜にあるモーガンが設計した建物の保存改修を横浜市から依頼され工事をしたのですが、その時モーガンの事績を調べるうちに彼の住んでいた家が残されていることを耳にし、発見しました。

そういうものをどう人々に知ってもらい、保存に賛同してもらうかということを考えなければいけないし、保存し活用してゆく方法も考えてゆかなければいけない。その中で、こういうものは大切ですから保存しましょうと声だけ出してもなかなか一般の方々には関心を持ってもらえないだろう。だったら実際に建物を見てもらい、こんな風に使えるのだということを知ってもらおうと始めたのがはじまりです。住むという使い方だけではなく一般市民の方も楽しめる使い方ができることを実際に見てもらうというのが開催の趣旨です。

**―連絡協議会とは。**

「湘南邸園文化祭」を実行するために各地のNPO等と県が協働して設立したものです。

**―具体的な催しの紹介を（藤沢南部、鎌倉、逗子、葉山で11、12月開催分）。**

◎11月8日　旧モーガン邸で楽しむ藍染体験＝同邸庭園（藤沢）

◎11月17日　募金コンサート「響け！富岳太鼓」＝藤沢市民会館

◎12月8日　旧モーガン邸で楽しむクリスマスリース作り＝同邸庭園

◎11月17日国登録有形文化財―旧後藤医院で聴くピアノ演奏会（藤沢）

◎11月22日～25日　鎌倉別荘建築の至宝―旧山本条太郎別荘特別公開

◎11月3日しおさい公園　琴のしらべ（葉山）

◎11月3日、12月8日　山口蓬春記念館邸園ツアー（葉山）

◎11月3日、4日「加地邸をひらく」木管サロンコンサート＝加地邸

◎11月17日「雨の念佛荘」サロンコンサート～宮城道雄名曲のしらべ～＝旧宮城道雄別荘（葉山）

御用邸の付属邸だった葉山しおさい公園

◎11月3日　文化財住宅で聴く「平家物語」＝長島孝一邸（逗子）

**＊明治150年特別企画**

12月8日　旧東伏見宮別邸でシンポジウム「地域の原風景を生かしたまちづくりへ」（葉山）

**―どうもありがとうございました。**

**湘南邸園文化祭連絡協議会事務局**（山手総合計画研究所内）横浜市中区吉田町10都南ビル401　☎045・341・0087（詳細はパンフレット）

---

# 健康百科通信　⑪３

## 喘息治療の進歩

内科学会認定医　宮下　明

昔、季節の変わり目には喘息発作がよく起きて辛い思いをする方が多かったのですが、今はいい吸入薬がいろいろと出て、ほとんど症状なく1年中過ごすことができています。

気管支の内側はたくさんのタイル（のような細胞）でおおわれていますが、気管支が炎症を起こしてタイルがあちこちはがれているのが喘息の本態です。タイルがはがれるとその下にある神経がむき出しになり、湯気や煙、乾燥した空気などに敏感になってしまい、気管支の周りを取り巻く筋肉が巾着の口のように締まってしまうので発作になります。

吸入のステロイド薬をしっかり使うことでタイルが治りやすくなり、また定期的に使うことでいい状態のタイルを維持できます。副作用を怖がる人もいますが、吸入なので飲み薬よりずっと量は少なくてすみ効果が期待できるので、主治医と相談して是非使ってください。

それでも収まらないアレルギーの強い人には、免疫を調節する注射薬も使えます。

**深沢中央診療所所長**
鎌倉市手広1―9―31
☎0467・31・7284

---

# いざっ!!鎌倉てらこや　（52）

## 帰ってきたい場所―2018年度ホームカミングデー

鎌倉てらこや事務局長　小木曽　駿

朗らかな陽光が夏の名残を感じさせるかと思えば降りそぼる雨が季節の移ろいを予感させる10月中頃、鎌倉大仏殿高徳院で「てらこやホームカミングデー（HCD）」が開催された。

HCDとは、卒業や進学などの生活の変化によって活動への参加が難しくなった子どもたちや大学生スタッフOB・OGらが鎌倉てらこやに帰ってくる年に一度の〝同窓会〟である。

昨春、早稲田大学を退官された池田雅之前理事長から、生後2カ月の乳幼児まで、世代を超えて集まった約80人が旧交を温めた。

今年は、自分の子どもと一緒に参加するOB・OGが多くみられた。初めて参加した2歳の男の子は、なかなか母親の横から離れようとせず、緊張した面持ちをしていた。しかし、いつもは大学生と遊んでいる小学校高学年の女の子がお姉さんとして関わっているうちに気が付けば楽しそうに遊んでいる姿が見られた。遠くない将来この子が、小学生となっててらこやに参加するかもしれない。大学生となれば、スタッフとして子どもたちと関わるようになるかもしれない。

季節の移り変わりと同様に、子どもたちは小学生から中学、高校生となり、大学生は卒業を迎え、社会人となり、親となっていく。

しかし、てらこやに卒業はない。立場が変われば、以前と同じようには関われなくとも、担う役割が変化していくにすぎないのだ。

その一方で、子どもたちとの本気の関わりを体現する「てらこやスピリッツ」は変わることなく脈々と受け継がれている。どれだけ活動が広がり、人が入れ替わろうとも、てらこやが誰にとっても「帰ってきたい場所」であり続けているからこそ、多くのメンバーがHCDに集まるのだろう。

OB・OGがその子どもたちとともに帰ってきた「鎌倉てらこや」というコミュニティーはますますその豊かさを増していくと実感している。こうした子どもたちが活動へと参加し、大学生として活動を支えていく未来の「てらこや」が今から楽しみでならない。

てらこやホームカミングデー
＝懐かしいメンバーもお子さんと一緒に帰ってきた

**鎌倉てらこや事務局**
☎0467・84・9746
（平日13～17時）
http://kamakura-terakoya.net/

---

# 視覚障害テーマに

## 講演や展示会

逗子

視覚障害者に有用な情報を伝え、視覚障害への理解を広めることを目的に逗子市初の催し「ブラインドワールドサポートDAY」が10月7日逗子文化プラザ市民交流センターで開かれ、百人以上が来場した＝**写真**。

市内のボランティア団体がサービスを紹介するコーナーや、県ライトセンターの相談会、最新の福祉用具の展示などもあった。メガネと一体型の小型カメラで撮影した画像をインターネット上で音声化して読み上げる「オトングラス」の試用会では視覚障害者が実用性を確認し「自分のメガネに付けられるようにしてほしい」など改善点がメーカーに伝えられた。

横須賀で視覚障害者を対象にヨガ教室を行う「チャレンジド・ヨガ」の講座には約25人が参加。

「パラスポーツのチカラ」と題した講演会はパラリンピックの正式種目「ゴールボール」で所沢サンダース所属・東京五輪をめざす宮食行次さん（23）とサポーターの林真生さん（21）が登壇。競技の魅力と、障害を越えて友情や信頼を築いたこの競技との出会いを語った。

実行委のいけがみ眼科の澤崎弘美医師は「眼科医と社協、福祉関係者が協力し地域から発信できた意味は大きい。一般の方にも視覚障害に対するアンテナを持ってほしい」と話していた。（K）

あなたの紙面をプロが応援します
優　新聞印刷会社
超　印刷業
を目指す！
当社サンケイ総合印刷株式会社は産経新聞、フジテレビ、ニッポン放送を中核とするフジサンケイグループの印刷部門の担い手として、変革を続ける幅広いニーズ、新しい感性に対応、最先端技術の導入をはかっております。
フジサンケイグループ
サンケイ総合印刷株式会社
FUJISANKEI COMMUNICATIONS GROUP
本　社　埼玉県戸田市喜沢南1-5-43　☎048-441-0111
大手町営業部　東京都千代田区大手町1-7-2　☎03-3242-3570

朝日新聞の購読料は口座振替で
・手数料は一切不要
・手続き簡単
ASA
従業員募集
詳しくは最寄りのASAへお問合せを
・専業従業員
・婦人パート
・学生アルバイト

---

# 心のふる里を行く　⑯

## 日本人はどこから来たのか

池田雅之

人類は600～700万年前にアフリカで誕生したと言われている。その後、人類はさまざまな進化をとげ、200万年前、アフリカ大陸からユーラシア大陸へと拡がったらしい。それからいっきに時代が下って、20～30万年ほど前に私たちの遠い祖先であるホモ・サピエンスが、東アフリカに出現したと伝えられている。私たちは、このホモ・サピエンスの末裔なのだ。

ホモ・サピエンスは、現在まで生き残った唯一の人類といわれている。10万年前、東アフリカを出たホモ・サピエンスは、ヒマラヤ山脈をはさんで、南北に分かれ、拡散していった。ホモ・サピエンスの日本列島への進出は、ほぼ4万年前と推定され、彼らが定住後に縄文人となり、その文化を生んだのである。

ホモ・サピエンスは日本だけではなく、世界中に拡散していったわけだが、今日まで生き残った理由は、彼らが長い年月をかけて生活上の「3つの革命」を達成出来たからだといわれている。「その3つの革命」とは、「認知革命」（10～5万年前）、「農業革命」（1万2000年前）、「科学革命」（500年前）である。

「認知革命」とは、生き残るために知恵と想像力を働かせて共同体のルール作りなどを行ったことであるが、「農業革命」は食物の生産、動物の家畜化、社会制度の確立などを推し進めた。また「科学革命」は近年のことで、近代文明の急速な発展により、科学万能主義と資本主義の発展をもたらしたのである。しかしながら「科学革命」を経た現在、今日の人間が、果たして幸せになったかははなはだ疑問である。現代社会の混迷は、人類史のたかだか500年前の「科学革命」から生み出されたものであるといえよう。

日本人はどこから来たのか？
海部陽介
国立科学博物館人類史研究グループ長
テレビ東京『46億年の地球博物館』著者登場！
人類のグレート・ジャーニー　その新たなる仮説

参考文献『日本人はどこから来たのか？』海部陽介（国立科学博物館人類史研究グループ長）文藝春秋刊

明らかに、日本人の祖先は東アフリカに誕生し、数万年におよぶロングジャーニーを経て、日本に到着した。日本人の祖先はホモ・サピエンスであると判明しているが、現在の人類全体の祖先もホモ・サピエンスなのである。すると、人類の祖先はみな同じである、と考えられる。膚の色や体型、言語などは、居住する気候風土と文化によって生み出され、規定されたものにすぎない。日本人のルーツ探しの旅も、人類全体のルーツ探しの旅と重なってくる。

（早稲田大学名誉教授・鎌倉てらこや顧問）

---

# NPO法人　ミャンマー　ファミリー　クリニックと菜園の会　MFCG　(26)

## 活動紹介やスタディツアー　参加者募集

代表理事　名知仁子

ミャンマー　ファミリー・クリニックと菜園の会（MFCG）は、ミャンマーの無医村に医療・菜園を通じて、保健衛生・栄養などを学ぶ機会を提供します。そして住民自身が生活環境の課題を解決し、命を育む未来を描ける社会の実現をサポートすることを使命として活動に専念しています。

普段はミャンマーのデルタ地域・ミャウンミャで村々を廻る巡回診療と手洗いなどの保健衛生啓蒙活動、家庭菜園レベルの有機栽培で野菜作りなどを行い、命を育み、夢を繋いでいます。

9月末～10月初めにかけて6回目の有機野菜栽培の講習会がマネコンという村で行われました。毎回の指導はミャンマーの農業の団体地球市民の会（TPA）と連携し、北部のシャン州から招聘しています。

バスでシャンからヤンゴンまで約12時間、その後ミャウンミャまで5、6時間かかります。このように大変な中、毎回のご協力は嬉しい限りです。今回の村での講習会は初めて。受講生は2人でしたが、熱心に3日間の講義と2日間の実習（ボカシ／木酢液の作成など）を受けていました。学校に行ったことがない受講生にとってこの講習会は大変だったと思います。

木酢液の作成中＝竹とバナナの幹を活用して作成

撒く種は栄養になるものと希望の物を提供します。今回の目玉はニンジン！実はこのデルタ地域でニンジンにあまりお目にかかったことがないのです。畑は荒れ地を開墾し開拓の状態からおこしていきました。私も行いましたが腰が痛くなりました。来年1月ごろの成果が楽しみです！

11月10日（土）横浜市鶴見の曹洞宗総持寺でSDGs（持続可能な開発目標）に関連した「**仏教音楽祭**」があります。そこに名知も帰国し、当会のブースを出展します。これは2015年の国連サミットで193カ国が参加し2030年までに達成しようとしている目標を提唱しています。我々の活動も自立ですのでピッタリです。会場でお会いするのを楽しみにしています。https://www.sotozen-net.or.jp/gyoji/20181002-2.html

「**第2回現地の活動現場を見て、触って感じる！現地訪問スタディツアー**」を12月16日～23日に催行します。この連載の活動現地（普段外国人が入れない）へ来て、見て、感じてみませんか？ご連絡は事務局へ。

**【申し込み・問合せ】東京荒川区東尾久8―41―23**
☎FAX03・6807・7499
E-mail:myanmarfcg.info@gmail.com
HP:http://mfcg.or.jp/
FB:https://www.facebook.com/mfcg.or.jp

**【この記事は清興建設提供】**

---

**新刊**

## 『宮本武蔵　必勝の極意！　最強の二刀流入門　―尾張円明流を学ぶ』

指導／監修　赤羽根龍夫

宮本武蔵　必勝の極意
最強の二刀流入門
尾張円明流を学ぶ

本紙3面の「文学つれづれ」を連載中の赤羽根さんは文学だけでなく、宮本武蔵研究をライフワークにしているが、武蔵の身体操法から決闘の戦術までも詳細に解説したビデオ『最強の二刀流入門』を出版した。

吉岡一門との3度の決闘に勝利した翌年24歳で書いた『兵道鏡』を元に、今回、3度目の決闘・一乗寺下り松の決闘及び有名な巌流島の決闘を中心にその頃名乗った円明流の形や、日本人の健康に役立つ武蔵の身体遣いも収録した。

5000円（税抜）、申し込み・問い合わせ書泉グランデ☎03・3295・0017

11月12日には東京都神田の書店「書泉」の催し会場で、ビデオ出版を記念したイベント＝収録してある決闘の再現や演武の体験、サイン会が行われる。詳細は『秘伝』11月号の著者の「宮本武蔵の戦闘法」で。

---

# 鎌倉朝日歌壇

香山　静子　選

缶コーヒー分け飲む夫婦さりげなく小さな幸せ残して去りぬ　梶原　中澤　二郎

ご夫婦を温かく見守っている様子が快い。

白壁に天使は遊び瓦屋根に十字架は光る朝の教会　片瀬　中村　喬

朝の教会の景が鮮かに描かれている。

福島の原発十基廃炉でも汚染水まだ山と積もれり　手広　高口　道宏

原発の怖さをさりげなく詠んだ時事詠。

木もれ日のくぬぎ林の散策にどんぐり数多足裏くすぐる　逗子市　湊　美根子

八十路坂の思はぬ段差につくづくと老いを覚ゆる足や腰など　辻堂　柳　蒼柳

病む夫にかける言葉の柔らかく歩む道の辺吾亦紅咲く　葉山町　近藤美知子

横浜線のホームに風が運び来る金木犀の香よ秋のさきがけ　大船　小笹岐美子

木犀は金の花びら敷き詰めて台風去りし秋晴の庭　葉山町　近藤　純

カヤックの帰る夕べの大岡川先へ先へと飛び跳ねるボラ　岡本　鳴海　紀政

触れた手に無限の愛を感じたりねむの木村のまり子母さん　扇ガ谷　鈴木　久子

日常を楽しむ術を身につけて輝く人にならんとぞ思う　玉縄　加来　優子

---

# 鎌倉朝日俳壇

星野　高士　選

〈天〉歩かねば見えぬものあり天高し　本鵠沼　森田順子

天高しという晴れ晴れとした季題だからこそ感じられること。上五中七も無駄がない。

〈地〉天も地も人も運動会日和　金沢区　岩澤　正春

運動会の場面だけではなく天と人への写生によって臨場感が出た。

〈人〉村眠る山の裏まで星月夜　大船　添田　洋子

村と山の状景を違う表現で語ったことが面白い。星月夜も更に明るいのである。

切り通し萩のこぼれて風の道　腰越　松原　薫

鎌倉の切り通しは萩もこぼれて今は平和である。

順風もたまにはありし秋の暮　植木　風見　玲子

秋の暮は秋の夕方。つるべ落としだが、少し明るい。

朽ちてゆく廃屋のこゑ桐一葉　逗子市　塩谷あい子

廃屋もたまに見かけるがそれなりの歴史はある。つまりこゑも聞こえてくる。この季題で甦った。

焼きたての秋刀魚は美味と娘の便り　今泉　小林刀羊子
江戸しぐさ傘傾けて秋しぐれ　葉山町　近藤　純
尼寺へ線路を渡る穴まどひ　鵠沼桜が岡　一色千穂子
岬まで刹那を秋の八日かな　逗子市　佐藤　信子
颱風に他の話題の吹き飛びぬ　材木座　羽賀　一男
釦叩き叩き疲れて寝落ちたり　城廻　小美野京子
恥じらいの薄紅見せて酔芙蓉　玉縄　加来　優子
わが街は物見遊山の小春人　笹目町　出蔵かおる
月明の水面に描く大樹影　腰越　小河　哲美
箸置きは木魚の根付秋彼岸　岡本　鳴海　紀政
母役を思い出したる赤のまま　笛田　上田　満喜
琴を聞く秋の一日の輝けり　腰越　大川　昭子
法師蝉欅並木や色づきぬ　手広　高口　道宏
大谷さん菊人形も二刀流　岡本　森田　孝